

## 平成22年度事業概況報告書

平成22年4月 1日

平成23年3月31日

平成22年度は「諸事多難」であったといえる。政治の分野では「混沌」というキーワードが象徴するような状況が続き、また経済に目を転ずると、年度後半、日本経済はエコポイント等の直接的な経済刺激策が終了するなかで、デフレ傾向からまだ完全に脱却ができないという「踊り場」の状況に直面していた。ところが平成23年3月11日に発生し東北及び関東を中心に未曾有の大被害をもたらした東日本大震災はその状況を一変させた。その被害の全容が精緻に把握された段階で明らかにされると思われるが、日本経済にかなりのマイナス影響があることは確実であり、少なくとも震災前に一部で語られていた景気回復に向けた楽観的シナリオは白紙に戻ったと言わざるをえない。福島原発事故の状況も予断を許さない状況であり、未だ複合的な危機状況にあると言える。全世界から日本の対応が注視されていると言ってよい。

当協会会員の主な事業領域である乳業の生産量を平成22年通年で見てみると、今年の夏の猛暑にもかかわらず乳飲料と発酵乳には伸びがみられたものの、飲用牛乳総計では対前年比マイナス1.1%となっており、減少傾向には歯止めがかかっていない。

当協会の状況に目を転じると、昭和36年12月に社団法人日本牛乳キャップ協会として設立登記を完了してから、平成23年11月には社団法人としての設立50周年を迎えることとなるが、本年度は当協会が50周年以降の一般社団法人への移行を含めた、新生日本乳容器・機器協会としての新たなスタートを迎えるために各種の施策に取り組んだ年度であった。

具体的には、平成22年5月に開催された第49回通常総会において承認された、事業企画小委員会協会が取り纏めた答申に基づく複数の承認議案に則り、以下の施策を行った。

1. 現行の特例民法法人として、公益目的事業の実施を可能にする定款の改定の厚生労働省に対する申請、認可及び登記の終了
2. 公益目的事業として第1回オープンセミナーの実施
3. 乳機器部会の更なる活性化のための第1回乳機器部会懇話会の実施
4. 賛助会員増強活動の実施による10社及び3団体の新賛助会員加入
5. 協会だよりとホームページの内容の充実の取り組み、特にホームページについては「不特定多数」を意識した対応の取り組みによるアクセス数の増加
6. 事業企画小委員会における会費制度及び関連する諸制度に関する答申の立案

このように当協会は厚生労働省をはじめ各方面のご協力及び会員の各位のご尽力により、新生日本乳容器・機器協会に向けた諸施策に進捗させてきた。今後も外的環境の変化に俊敏な対応を行い国民の健康と食の安全に貢献していかねばならない。

## 1. 通常総会

平成 22 年 5 月 26 日（水）第 49 回通常総会開催（KKRホテル東京）会員 23 社出席

- (1) 議題：①平成 21 年度事業概要報告及び決算書について②当協会が今後選択すべき方向性について③一般社団法人移行に向けた具体的な手順とそれに伴う定款変更について④財務基盤の強化と関連する諸規程の改定と新設について⑤継続性のある協会運営ルール構築について⑥その他の事業企画小委員会の提言について⑦平成 22 年度事業計画書及び収支予算書について
- (2) 報告：①乳等省令改正作業の進捗について
- (3) 厚生労働監視安全課加地祥文課長講演…「最近の食品衛生行政について」

## 2. 主な活動

- (1) 技術統括委員会  
協会関連技術事項（乳等省令等）の統括、合意事項の確認、進捗状況確認等、厚生労働省要請調査に対する対応
- (2) 定例技術会議  
乳等省令改正作業に対応した知見のあるメンバーのタスクフォースとして活動
- (3) 乳機器部会  
協会内外の講師による技術セミナー企画。（平成 23 年 3 月 24 日開催予定であったが東日本大震災のため中止）、乳機器部会懇話会の実施（平成 22 年 10 月 29 日）
- (4) 乳容器部会  
6 ワーキンググループによる活動、乳等省令改正に関する情報提供
- (5) 事業企画小委員会  
会費制度及び関連する諸制度に関する答申書の作成、賛助会員増強活動に関する調整

## 3. 官公庁・関係団体などとの取り組み

- (1) 厚生労働省…乳等省令改正関連に関する協力・調整、公益目的事業を可能にする定款変更申請・認可（平成 22 年 7 月）
- (2) 関係団体等…（社）日本乳業協会、（社）全国はっ酵乳乳酸菌飲料協会、ポリオレフィン等衛生協議会との意見交換。全国飲用牛乳公正取引協議会への協力（専門部会参加、情報交換等）。

#### 4. 広報事業の取り組み

会員に対する情報提供と非協会会員を含めた普及啓発事業の実施

##### (1) 第1回オープンセミナーの実施

公益目的事業として昨年11月に第1回オープンセミナーを「企業と消費者にとって安心と安全とは何かを検討する」を実施し、ホームページ上でも広く案内を行い、半数の非協会会員を含む100名弱が参加した。

##### (2) ホームページ

不特定多数を意識したホームページの内容の充実を図り、また掲載情報の鮮度管理に努めた。オープンセミナーについてはホームページからの申込も可能とした。

##### (3) 協会だより

外部有識者の執筆原稿を掲載するなど内容の充実を図ると共にホームページとの協働を図った。

#### 5. 会員数

平成23年3月末現在	正会員	40社
	賛助会員	13社及び3団体
	計	53社及び3団体

#### 6. 会議等の開催状況

(1) 通常総会	平成22年5月26日	1回
(2) 理事会		4回
(3) 事業企画運営委員会		2回
(4) 事業企画小委員会		10回
(5) 技術統括委員会		9回
(6) 定例技術会議		4回
(7) 紙容器WG会議		2回
(8) 紙栓WG会議		1回
(9) 紙コップWG会議		1回
(10) 樹脂ふたWG会議		1回
(11) 樹脂容器WG会議		1回
(12) 蓋材WG会議		1回
(13) 乳機器部会		1回
(14) 乳機器部会懇話会		1回
(15) 関西ブロック会議		1回
(16) オープンセミナー		1回

以上